

九州ブロッククラブネットワークアクション 2018in くまもとプロジェクト
第8回スタッフミーティング議事要旨

日 時	平成30年7月6日（金）午前11時から午後0時30分
場 所	阿蘇プラザホテル「野火の間」
参加者	住吉・山田・林田・齋藤・北園・松本（スタッフ6名）、西（当日司会担当） 永田・太田黒（事務局2名）、岡田（日本スポーツ協会）

《議事内容》

- 1 開会
- 2 挨拶
 - ・齋藤プロジェクトリーダーから挨拶
- 3 報告（資料P1～16参照）
 - (1) プレイメント研修会の実績について
 - (2) プレイメント研修会のアンケート結果について
 - (3) プレイメント研修会のワークシートまとめについて
 - ・参加実績、アンケート結果、ワークシートまとめについて一括して事務局から報告。
 - ・ワークシートまとめについては記録係の西島氏が担当した旨報告した。
- 4 議事
 - (1) 九州ブロッククラブネットワークアクション 2018in くまもとの開催について
 - ・①開催要項（案）及びチラシ（案）から⑦今後のスケジュールまで、事務局から一括して説明。

—協議の結果—

 - ◇共通プログラムについて、講演の後、「身体障害者」「車いすの方」に特化し、中尾氏の講演を聞いて、10分間は参加者同士で何ができていない等の「ないもの」を話し合い、その後の10分間は「何ができるか」を話し合う時間とする。全体ファシリテーターはプロジェクトリーダーの齋藤氏が行う。
 - ◇オリジナルプログラム「パネルディスカッション」について、10分間の発表時間は短いという意見もあるが、発表者のプレゼンスキルをあげるため、予定どおり10分間で行うこととする。
 - ◇発表者については、発表内容の要点を絞り、ある程度各発表テーマの動機や経緯、何をしたのか、そしてどういう成果や課題があるか等を順序立てて説明すべきであるとの意見にまとまった。ただし、テーマによって強調すべき部分などが違うことも考えられるため、発表クラブについては、事前にレクチャーする機会が必要である。
 - ◇全てをこの時間で発表するのは難しいため、細かいことやお金のことなど、詳しく知りたい方は、各自で各クラブに問い合わせるような流れを作ることで、ネットワークをアクションにつなげるというイメージにつながると思われる。聞きやすい雰囲気作りを行うことも必要。
 - ◇参加者に事前に趣旨を伝え、「ねらいの共有」を行うことが重要と思われる。
 - ◇テーマは8テーマとしていたが、8会場×3セッションの24クラブが発表できるため、日頃発表していないクラブと事業として大きなクラブの発表も必要だろうという意見が出た。
 - ◇スピンオフ企画については、クラブ南阿蘇から希望調査の提出があった旨報告。今後はプロジェクトスタッフに1名お願いすることに決定した。
 - ◇シャトルバスに係る保険について、往復途上の事故に係る部分は別途保険を確認することとなった。その分の乗車する方の保険料は各自負担していただく。事故に係る車両保険は基本的には車両に各クラブないし町がかけている保険で対応可能か確認いただくこととする。

(2) 今後の九州ブロックについて本県からの提案事項について

- ・①実行委員会副委員長の決め方、②今後の九州の動きについて事務局から説明。

—協議の結果—

◇次年度以降も開催県で検討し、適任者を推薦する形で行う事を実行委員会にて提案することに決定。

5 その他

(1) 実行委員会について

- ・提案内容の確認。

6 閉会

